

# 原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!

# 6・22『真喜志好一 講演会』

## オキナワのいま～反基地闘争勝利への展望

2014

### 6月22日(日)

開場15:00 開演15:30

終演19:00

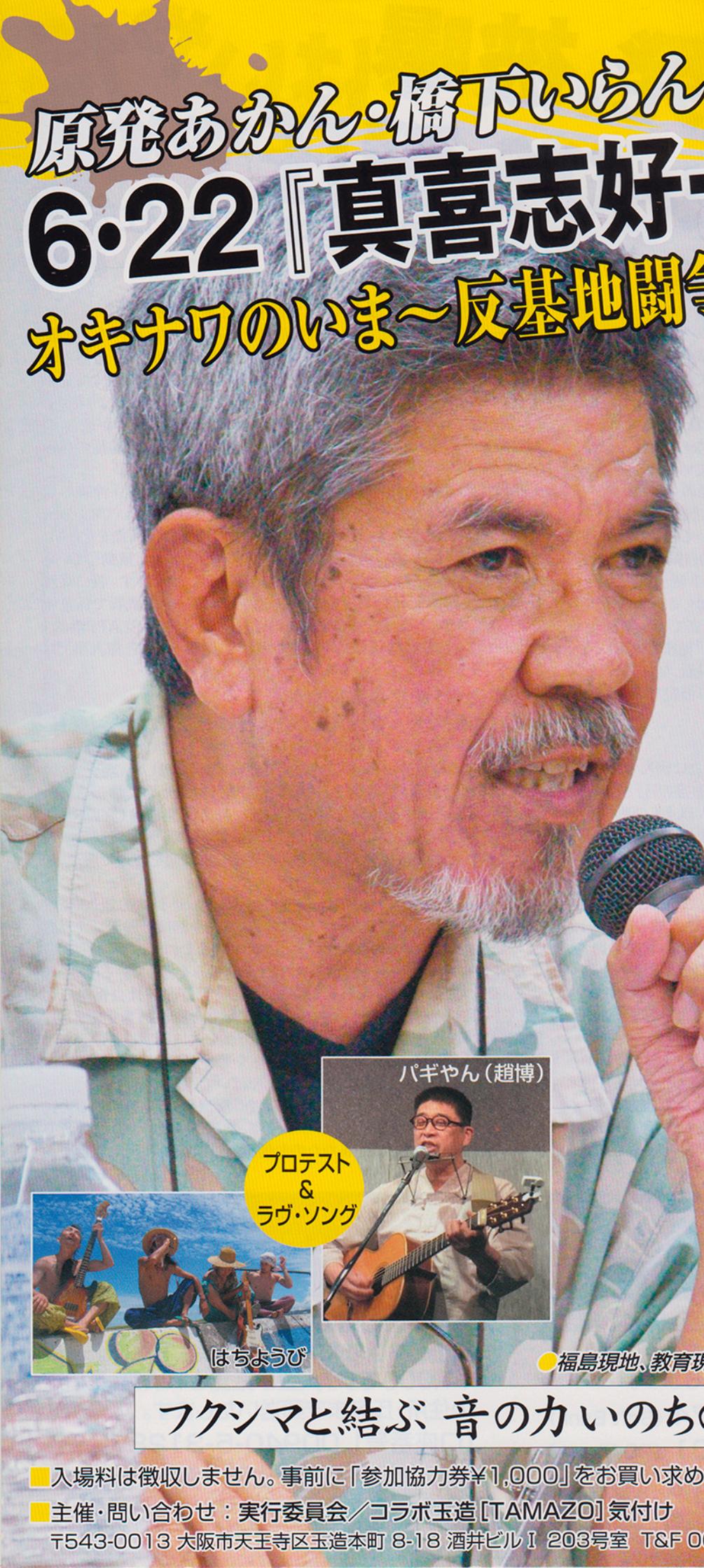
※途中休憩と喫茶軽食あり。終演後30分間は交流会です。

### 浪速区民センター

大阪市浪速区稲荷2-4-3

電話 06-6568-2171

◎地下鉄千日前線「桜川」、環状線「芦原橋」下車 徒歩7分



パギヤン(趙博)

プロテスト  
&  
ラヴ・ソング



はちようび



原発事故  
取材報告

おしどりマコ・ケン

●福島現地、教育現場、反弹圧、反TPP運動、他からのアピール

## フクシマと結ぶ 音の力いのちの言葉 (Vol.5)

■入場料は徴収しません。事前に「参加協力券¥1,000」をお買い求め下さい。(申込方法は裏面に。)

■主催・問い合わせ：実行委員会／コラボ玉造[TAMAZO] 気付け

〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 8-18 酒井ビル I 203号室 T&F 06-6763-0211 メール tamazo@fanto.org



# さよなら原発、被曝はいやだ、ファシズムまっぴら、弾圧やめろ

## …原発と基地のない社会を!

### 秘密保護法、消費増税、原発再稼働、そして「戦争」…

「出直し大阪市長選挙」で橋下徹に投票した有権者が38万人で、消費税を上げても原発再稼働を表明しても「安倍内閣の支持率」は、なんと48%! 5000万円で猪瀬が辞任し、8億円で渡辺が代表を降りる等々、政治は「最悪度」を日々更新し続け、スキャンダルには事欠きません。「割烹着のプリンセス」とばかりに持ち上げたマスコミが手のひらを返したようにバッシングに殺到し、「悪い韓国人も良い韓国人もみな殺せ!」と今日もヘイトスピーチが罷り通るこの社会。鈍感なのか無関心なのか、考えようとならないのか考えたくないのか? 日々重大事件が発生しているのに、多くの人が平然とこれまでどおりの生活を反復してしまう現実とのギャップ…。

そんな中で、止まるところを知らない「貧困の深化」と「格差の拡大」を背景に、日本国が確実に「戦争」への道を突き進んでいることだけは、間違いないさそうです。ファシスト安倍・暴走政権は「集団的自衛権行使の容認」を閣議決定しようと目論んでいます。これは、改訂手続きを経ずして「憲法9条を抹殺する」企みです!ましてや「何が秘密か、それは国家が決める」のだとすれば、私たちは、知る権利も異議申し立ての正当性も、一切合財奪われてしまいます。菅原文太は言いました「秘密保護法でどめを刺されてしまう」と。「物言えぬ社会」で「一切抵抗しない民」に甘んじることは、民主主義どころか「生きること」そのものの否定です…いやや、絶対イヤやあ〜!!

### 二つの「6・23」、知っていますか?

1945年6月23日に沖縄戦の組織的戦闘が終結したことに因んで、琉球政府(1952~72年)と沖縄県(1972年~)は6月23日を「慰霊の日」と定め、国の機関以外の役所・学校等は休みなのです。15万人以上もの県民が犠牲になった沖縄戦のあと、米軍は占領軍として「銃剣とブルドーザー」で住民から広大な土地を奪いました。そして今も、日本の国土の0.6%に満たない沖縄に、在日アメリカ軍の全軍用施設のうち74%が集中している—この「法的」根拠が「日米安保条約」であることは二言を要しません。

さて、1951年9月8日に米・英をはじめとする第二次世界大戦の連合国48ヶ国と日本との間で『日本国との平和条約』(サンフランシスコ講和条約)締結された際に、主席全権委員・吉田茂は「日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約」(旧日米安保条約)にも署名しました。この条約によって、日本を占領していた連合国軍の一国であるアメリカの軍隊が「在日米軍」として、引き続き日本に駐留することが可能になったわけです。その後「60年安保闘争」が空前の規模で闘われ、岸信介とアイゼンハワーが合意・調印した「新安保条約」は、参議院の議決がないまま1960年6月19日に自然成立、岸内閣は批准書交換の日である6月23日に総辞職を表明。それ以来「6・23反安保デー」は、長く「反戦・反基地・反安保」闘争の記念日として日本各地で集会やデモが行われていましたが、今は途絶えて久しいのです。

### オスプレイ飛ぶな!

### 辺野古新基地・高江ヘリパッド阻止!全原発廃炉!

「オール沖縄」の願いと多数の議会決議を踏みにじって、オスプレイの配備が強行されました。2013年12月27日、仲井真沖縄県知事は「辺野古埋め立て」を承認してしまった…しかし、14年1月19日名護市長選では稲嶺再選(=反基地運動側の勝利)をはたし、沖縄の反基地運動はより粘り強く展開されています。辺野古・高江現地では、住民の座り込みが続き、普天間基地返還の約束履行とオスプレイ撤去を求める行動は、基地の休みの日以外は毎日行われています。昨日も、今日も、明日も…。

「本土」に住む私たちは「日米安保のお先棒を担ぐのか」「沖縄の反基地の闘いと共に歩むのか」この際、自問自答すべきではないでしょうか?そして、収束の見込みすらない原発事故と甚大な放射能汚染をもたらした元凶が、実は、沖縄に基地を押しつけ戦争準備を着々と策動している張本人ともであることに、もうそろそろ気付いてもいいはず。特に高江では、国(沖縄防衛局)が住民を訴えるという暴挙にでて、裁判で係争中です(高江スラップ裁判)。映画『標的の村』にも登場した「SLAPP訴訟」についても、「自分の問題」として理解を深めましょう。決して、他人事ではないのですから!

### 「沖縄の今」を語る真喜志さん、 「原発事故の今」を伝える"おしどりマコ・ケン"

真喜志好一さんは、琉球政府時代に「留学生」としてパスポートを持って「本土」に来て、神戸大学助手を経て沖縄に戻られました。現在は「沖縄平和市民連絡会」世話人で、沖縄キリスト教短大、沖縄大学、シュガーホール(佐敷町)、壺屋焼物博物館(那覇)、佐喜真美術館(宜野湾)などを設計した建築家です。1996年「SACO合意」以降、米軍関係資料を丁寧に分析しながら、基地の現状と日米両政府の動向を各地で解説、その「分かりやすさ」には定評があります。

また、『DAYS JAPAN』の連載やインターネット・サイトでの報告・発言でお馴染みの"おしどりマコ・ケン"御両人には、今回は音曲漫才ではなく「原発事故取材」のビビットな報告をしていただきます。

安倍や橋下の言う「国民」は一部の富裕層のみを指しているに過ぎません。私たち「大多数の庶民」は、増税と「賃下げ」と「社会保障の切り捨て」で息も絶え絶え…フクシマとオキナワに犠牲を強いる「構造的差別」を凝視し、「差別と貧困」を乗り越える術と方法を共に模索しようではありませんか。「原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて」に加えて大声で叫びましょう「安保反対、安保破棄」「ほんまにやばいで、TPP」と。

そして、高らかに歌うのです、平和の歌を! 反原発・反基地の叫びと民衆の歌を! 私たちの歌を!! 闘いつつ学び、学びつつ闘い、楽しみながら闘い、闘いを楽しみましょう。あなたのお越しを、心よりお待ちしております。【実行委員会 一同】

**「6・22」実行委員会では、賛同団体、賛同人(個人)を広く募っています。**  
 当日のパンフレットに掲載いたしますので、趣旨に賛同される方は下記①と同じ方法でご連絡下さい。  
 実行委員会の会議は毎週火曜日19:30~、於「コラボ玉造」です。お気軽にご参加ください。

- ① 下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。  
 [振り込み用紙] 同封でお送りします。  
 電話 080-3119-7074 (Soft Bank)  
 Fax 050-1200-9601 (BB Phone)  
 メール tamazo@fanto.org  
 「コラボ玉造」まで 葉書 か 封書
- ② 郵便振替口座に「6・22参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚 ¥1,000です。入金が確認され次第、ご指定の住所・氏名まで郵送いたします。  
 【口座番号】 00940-5-312873  
 【加入者名】 企画・出版 黄土(ファント)  
 ※事務処理の関係上、お振り込みの締切は6月12日(木)とさせていただきます。それ以降は、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。

お申し込み方法  
 参加協力券